

グローバル・ビジネス・モデル論

担当者 西井 進剛

開講時期 後期 単 位 2

●講義の概要

本講義の目的は、グローバル企業のビジネスモデルとして注目を集めている「プラットフォームビジネス」「プラットフォーム・ビジネスモデル」について理解を深めることにある。講義の前半は、プラットフォームビジネスに関する基本的な知識（テキスト①）について学習する。講義の後半は、同分野における評価の高い専門書（テキスト②）を用い、理論的な知識について学習する。各回の講義内容は、テキストに準じている。

●講義の到達目標

「プラットフォーム」「プラットフォームビジネス」「プラットフォーム・ビジネスモデル」の概念について理解し、付帯する専門知識を習得する。グローバル企業のプラットフォーム・ビジネスモデルについて理論的な分析ができる。

●講義計画

- 第1回 プラットフォームビジネスの概念
- 第2回 プラットフォームの基本：レイヤー構造化、ネットワーク効果
- 第3回 プラットフォームの基本：クロスプラットフォーム、デバイス転換
- 第4回 プラットフォームの広がり：シェアリング、IoT
- 第5回 プラットフォームの広がり：WTAへの布石、プロフィットプールの攻防
- 第6回 プラットフォームの戦略：エコシステムのマネジメント、攪乱要因
- 第7回 プラットフォームの戦略：マルチホーミング、対抗策、包囲戦略
- 第8回 プラットフォーム思考
- 第9回 ウィナー・テイクス・オール（WTA）
- 第10回 戦略とビジネスモデル
- 第11回 共通する失敗
- 第12回 既存企業の適応
- 第13回 プラットフォームの諸刃の剣
- 第14回 プラットフォームとその将来
- 第15回 講義全体の振り返り

●成績評価基準と方法

- ・授業内でのプレゼンテーションの評価（40%）
- ・ダイアログ、ディスカッションへの参加度（30%）
- ・期末レポート（30%）

●テキスト又は参考文献

- ①根来龍之（2017）『プラットフォームの教科書』日経BP社。
- ②Cusumano, M. A., Gawer, A., & Yoffie, D. B. (2019) *THE BUSINESS OF PLATFORMS: Strategy in the Age of Digital Competition, Innovation, and Power*, New York: Harper Business. (青島矢一監訳『プラットフォームビジネス：デジタル時代を支配する力と陥穽』有斐閣, 2020年)

●受講上の留意点

毎回の授業にて、テキストの内容や事例研究に関するプレゼンテーションを課す（評価割合40%）。そのため、テキストはもちろんのこと、関連資料等を事前に読み込んでから授業に参加することが求められる。加えて、授業内でのダイアログやディスカッションへの積極的な参加が必須となる（評価割合30%）。期末レポートでは、グローバル企業のプラットフォーム・ビジネスモデルについての理論的な分析に取り組んでもらう（評価割合30%）。